

退職のご挨拶



附属農場 作物生産技術学研究室

高橋 行継

宇都宮大学には2008年4月の着任以来、17年間お世話になりました。毎年退職される先生方の多くが40年前後の在職であることを考えれば、その半分にも満たないような期間でしたが、大学教員でなければできない数々の貴重な経験をさせていただきました。所属学会の諸委員会の委員や農林水産祭、国家公務員試験、普及指導員資格試験の専門委員などは、大学教員であったからこそで就くことができた業務でしょう。

私の前職は群馬県職員で、農業試験場と普及指導機関にそれぞれ10年と8年、最後の1年は職員労働組合の離籍専従役員として過ごしました。専門分野であった水稻に関する試験研究業務をずっと続けることは県の人事、組織体

制からみて難しいと感じ、県在職中に農工大学連合大学院に2003年10月社会人入学(宇都宮大学配置)をして2006年9月に学位を取得、当時在籍しておられた吉田智彦先生のご尽力もあって本学に来ることができました。

大学ではもっと自由に研究ができるかと思いましたが、教育、学内運営、社会貢献との兼ね合いで想像していたようにはできず、2010年に品種登録をした水稻品種「ゆうだい21」の普及業務にもかなり振り回されました。ただし、「自分自身その柄ではない」と思っていた教育に関しては、たくさんの新たな気づきがありました。研究室等で指導をした多くの学生たちが社会に出て、公務や教育をはじめ各分野で活躍してくれていることは実に頼もしい限りです。講義教材の作成やレポート評価、期末試験、試験後のフォローなど一貫して丁寧に行うことを心がけ、ベストレクチャーも専門科目と基盤教育科目で1科目ずつ受賞することができました。管弦楽団顧問も8年間任せ、これらすべて大学教員ならではの経験であったと感謝しています。附属農場での教育・研究活動も、共同利用拠点等を通じて農場がまさしく脂が乗り切った時期に在職でき、多忙ながらも皆様方からのご支援の中で充実していたと感じております。

末筆になりましたが、本学の益々のご発展を祈念して退職のご挨拶といたします。

新入生歓迎会



(生物資源科学科)



(応用生命化学科)



(農業環境工学科)



(農業経済学科)



(森林科学科)

令和7年度入学の学生を対象に新入生歓迎会を行いました。今年も学科ごとに行われ、新入生と教員および先輩との交流の場として楽しいひと時を過ごしました。

学 科	実 施 日	内 容
生物資源科学科	2025年4月4日	大学生協での会食
応用生命化学科	2025年4月14日	農学部棟大会議室での会食
農業環境工学科	2025年4月11日	大学生協での会食
農業経済学科	2025年4月22日	大学生協での会食
森 林 科 学 科	2025年4月7日	演習林での昼食会